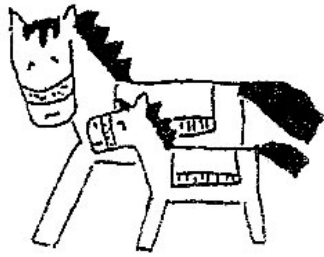


お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぼっくりぼっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



令和2年 12月 NO.313

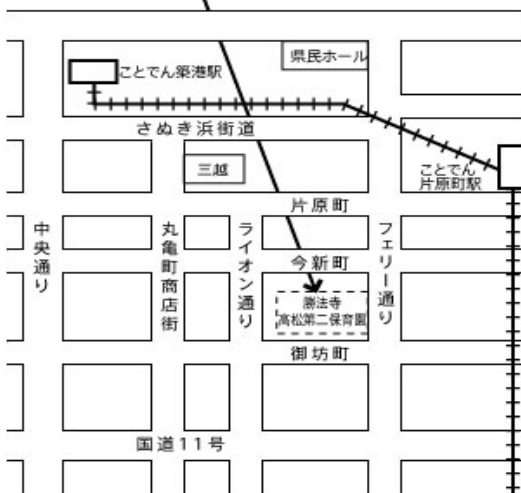
〒760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松第二保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		12月の主な活動		～お気軽にどうぞ～
12月 5日 12日	土	体験保育 10:00～11:00	室内でも運動あそびができますので、 お子様もおいでください。	
12月 9日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	平和記念館の杉村智子氏に戦争や 平和について絵本、お話をお聞きし フリートークもあります。	
12月 11日 25日	金	うたうたい「カラヴィンカ」 19:00～20:30	全身をほぐした体操をすると 声が出やすくなり、疲れもとれます。 どなたでもどうぞ。	
12月 17日	木	こうさぎおはなし会 15:30～16:30	絵本やペープサートなど 小さいお子様向けのおはなし会です。	
12月 19日	土	おとなアート 14:00～16:00	青首大根の形や大きさを パステルやちぎり絵で表現します。	

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して いますので、親子でご来園下さい。 (但し、月・日曜・祭日は休み)	育児相談(月～土)9:00～18:00 しつけや子育てについての悩み、保育園生活 入園・見学についての相談もどうぞ。
--	--

香川県高松市御坊町2-2
地域子育て支援センター



雨の日
色紙を野原いっぱい
撒(ま)きましよう。
枯野を春に
変えましよう。
色紙をちよきんちよきんど
剪(き)りました。
あした日和(ひより)に
なったら、と。
色紙を日ぐれに誰か
棄(す)てました。
わすれて銀杏(ぎんなん)
してるまに。

金子みすゞ童話全集4
「空のかあさま・下」より



☆今月の内容 — 「鬼滅の刃」を分析すると残酷な近代への哀惜
きょうだいへの接し方 公平に ～「上と下」役割はずし向き合っ～

「鬼滅の刃」を分析すると 残酷な近代への哀惜

畑中 章宏 (民族学者)

『鬼滅の刃』は、大正時代の日本の山村で幕を開ける。炭焼き・炭売りを生業にする竈門炭治郎^{かまどたんじろう}が、妹ひとりだけを残し、家族5人を「鬼」によって殺されてしまうのだ。

日本の鬼は、祭りや年中行事、伝説・民話に登場するときには、ただ恐ろしいばかりではなく、春の訪れを告げ、魔をはらう両義的な存在である。一方『鬼滅』の鬼は、時代の進歩に合わせてヴァージョンアップされている。

「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」では、鬼は汽車と合体する。夜闇を疾走する汽車は、近代的な技術と速度の象徴だろう。劇場版の鬼側の主人公である魘夢^{えんむ}は、睡眠状態に陥らせた人々の無意識に侵入し、精神の核を破壊しようとする。フロイトの精神分析を踏まえた、極めて近代的な方法だ。それに対し、炭治郎が属する鬼殺隊が駆使する技は、歴史的に継承されてきたものである。

鬼殺隊の原動力は親子愛や兄弟愛であり、隊員同士も友情で強く結ばれている。しかしまた、鬼たちは強制的に参加を強いられ、その上下関係はパワハラ以外の何ものでもない。絶対的な存在である鬼舞辻無惨^{きぶつじむざん}への口ごたえは許されず、明治以降の近代国家を支えたシステムに近い。

鬼たちもじつは同情されるべき存在だ。彼らも鬼になりたくて、鬼になったのではない。炭治郎の妹の禰豆子^{ねずこ}も鬼化しており、妹を人間に戻すことが炭治郎の重要な使命となっているが、炭治郎自身が鬼になっている可能性もあった。ほかの鬼も生活の労苦^{ほんろう}などに翻弄され、鬼となることを選ばざるをえなかったのである。

日本の鬼の原型のひとつである酒呑童子^{しゅてんどうじ}は、平安京の人々を襲ったが、住处^{すみか}を追いやられ、拠点にしていた大江山で、人間の武将たちからだまし討ちにあう。鬼にも鬼の事情があったにもかかわらず…。本作のヒットの背景には、同情と共感に裏打ちされた日本における鬼と人との伝統的な関係が再現されている点もあるのではないか。日本では原因不明の疫病は鬼(疫鬼^{えきき})によってもたらされるものだと考えられていた。現代科学によっても簡単には克服しえ

ない疫病に向き合う私たちは、鬼への共感を忘れていないのかもしれない。

首が飛び、血しぶきが舞う描写を、残虐で、残酷だと目を背ける人も少なからずいる。テレビアニメの第1回のタイトルも文字どおり「残酷」だったが、この「残酷」は、家族を助けることができなかつた炭治郎の運命や、鬼の宿命の残酷であり、残虐だけを意味するものではない。民族学者の宮本常一が「残酷」という言葉を、東北の方では、「自分の意思ではないのにそうになっていった」ことへの“哀惜”の意味で用いていた、と指摘していたことを思い浮かべたのだった。

「読売新聞」令和2年11月24日



きょうだいへの接し方 公平に ～「上と下」役割はずし向き合って～



札幌市手稲区の30代女性は、小2の長女と2歳の次女の姉妹を子育て中。長女は大人びたことを言って反抗する一方、時々とても甘えることもある。下の子の世話や家事で忙しいと、長女に向き合うのが「面倒に思えてしまう時がある」と打ち明ける。

お茶の水女子大の菅原ますみ教授（発達心理学）は「親は上の子に対して、（下の子の）『養育者チーム』の一員としての役割を期待し、下の子には『いつまでもかわいらしい存在でいる』役割を期待する傾向がある」と指摘する。

上の子がしっかりした面を見せると、そのまま早く成長することを期待するが、上の子も、何歳になっても甘えたい時があるもの。「時々は“兄”や“姉”の役割を外して、1人の子としてみてあげてください」と話す。

下の子には甘くし過ぎず、あいさつやルールの順守など、年齢相当のことを身につけられるよう心がけると良いという。

きょうだいを育てる親は、どんなことに配慮しているのだろうか。博報堂こそだて家族研究所（東京）が昨年まとめた調査では「公平に物を与える」（58.6%）、「それぞれの希望や主張を尊重する」（51.7%）、「トラブルには公平な立場で介入する」（45.4%）などが挙げられた。

きょうだいに公平に接する姿勢は、親子の信頼関係を築く上で大切だ。ケンカに介入する際は「上の子なんだから、我慢しなさい」ではなく、双方から話を聞く。下の子がまだ話せないなら、「〇〇ちゃん（下の子）がまだ我慢できなくて、ごめんね」と上の子に謝るなどをする。

きょうだい同士の暴力や暴言への対応は、「暴力のない家庭を目指して、やはりすぐに介入する」。「いったん落ち着こう」「飲み物でも飲もうか」とクールダウンさせ、平和的に解決する方法を一緒に考えていくと、「社会で役立つ力が身につく」と言う。

きょうだいには、仲良く過ごし、かばいあう「ポジティブな面」と、物や親を取り合う「ネガティブな面」の両方がある。約2千人の子どもを長期的に追跡した英国の研究では、ポジティブな側面が強いほど将来的に社会性が伸び、ネガティブな側面が強いと問題行動が増えることが明らかになった。

また、ポジティブな面に与える影響力は上の子の方が大きいことも判明したという。「きょうだい関係を大事にしていくと、子どもの育ちに良い影響があります」と菅原教授。

とはいえ、きょうだい一人一人と丁寧に向き合うのは、時間的・体力的に難しい場合が多い。菅原教授はそれでも、子どもと親が一对一で過ごす時間を意識的に作るよう勧めている。家族そろって行動するのも良いが、時には「今日

はパパとお兄ちゃんチームで買い物だよ」など、グループ分けするのも一つの方法という。「一人一人が“主人公”になり、ゆっくり話を聞いてもらう機会があると、子どもの心は満たされる。上の子はそれによって、機嫌良く下の子のお世話をすることもあります」と助言している。

複数の子どもを育てる上で、母親が心がけていること (複数回答)

